

## 式 辞

初夏を迎え、校庭の木々も緑の深みを増す中、高い丘の上に悠々と泳ぐ「鯉のぼり」が、砂子坂から登校してくる皆さんの目に飛び込んできたことでしょう。これは、地区の方が川西中学校の生徒たちを励まそうと寄附してくださったものです。

さて、新入生三十七名の皆さん、ご入学おめでとうございます。3月2日の午後から臨時休業に入つて88日目。ようやく、本日、保護者の方と教職員  
の参加によって、令和二年度 第七十回 福井市川西中学校入学式を挙行にこぎつけられましたこと、  
本当にうれしく思います。



今ほど、皆さんは、担任の先生の点呼によって、正式に、この伝統ある川西中学校の生徒の一員としての第一歩を踏み出しました。三か月もの長期の休業期間中に、大きな事故やケガ、病気もなく本日を迎えられたこと、自分で自分の身をしっかりと守ることのできる、いわば「生きる力」を身につけた皆さんは、すでに、本当に素晴らしい川西中学校の生徒の一員です。そのような皆さんに、特に心がけてほしいことを二つお話しします。

一つ目は、「文武両道を目指す」、という事です。この3年間は、子供から大人への「自立」のためのエネルギーが、一人一人の皆さんの体の奥底から止めどなく湧き上がってくる時期です。例をあげるならば、声変わりやがっしりとした体つき。このとてつもなく大きなエネルギーを学業と部活動にしっかりと向けてほしい。その過程には、辛いことも多く、逃げ出したくなることもあるでしょう。そんな時は、

目の前で歯を食いしばっている先輩の姿を手本とすることです。困難の克服のためのヒントが必ずや見つかるはずです。地道に努力を積み重ね、中学生としての力量を少しずつ確実に高めていってくださいます。

二つ目は「環境にしなやかなに対応する」ということです。先行き不透明で変化の激しい時代と頭で分かってはいても、まさか全国の小・中・高校が突如、臨時休業となること、入学式で国歌や校歌を歌わないことなどは思ってみなかつたことでしょう。しかし、置かれた状況の中で、最もよい選択は何かを自分で考え、勇気をもって行動する。

自然科学者ダーウィンはその著書『種の起源』中で生物進化論を唱えました。それは「力の強い者が生き残るのではない。賢い者が生き残るのではない。唯一生き残ることができるのは、環境の変化に柔軟

に対応し自ら変化・成長できるものである」と。明日から、またどんな環境の変化が待ち受けているかもしれません。そんなときこそ、柔軟にしなやかに対応してください。

さて、保護者の皆様、お子様のご入学を心からお祝い申し上げます。前例のない長期休業で、言葉にできない多くのご苦勞があったこと、察するに余りあります。今後の見通しの立ちにくい中での中学校生活のスタート。そのため、教職員一同、一丸となって考え得る限りの支援体制を整えて、生徒の皆さん、保護者の方の不安感を少しでも軽減し、学校教育目標の達成に向かって邁進して参ります。保護者の皆様のご理解とご協力のほど、お願い致します。

令和二年度の川西中学校の生徒数は百二十一名。六月一日から、いよいよ学校の全面再開。とは言っても、困難が予想されます。これは皆さんにとって

正に「登竜門」。竜を目指して急流を登ってゆく「コ  
イの滝登り」のように、また、向かい風が強く吹け  
ば吹くほど躍動する緑の丘の鯉のぼりのように、皆  
さんも厳しい現実をしつかりと受け止め、正面から  
果敢に挑戦していってください。一人一人が明確な  
目標を持ち、かけがえのない青春の1ページとして、  
充実した中学校生活になることを期待しています。  
合わせて、ここに集っていただいた方のご健康と  
ご多幸をお祈り申し上げ、式辞と致します。

令和二年五月二十九日

福井市川西中学校長

齊藤 浩之

